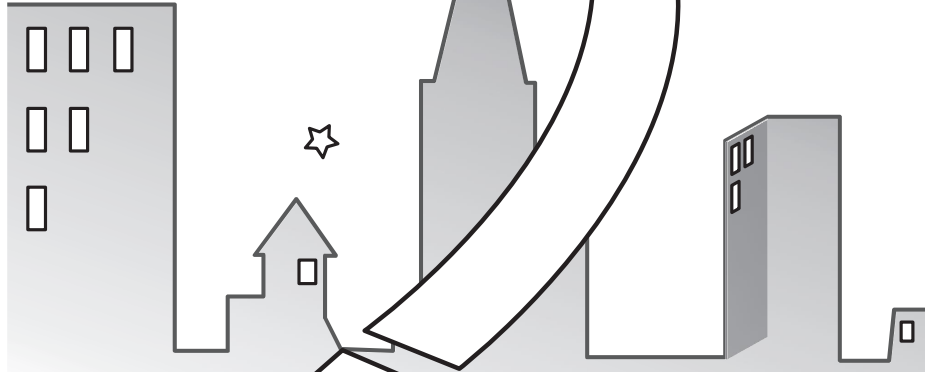


可能性のその先へ
新たな未来に
さらなる挑戦を

株式会社エスアールディは25周年を、株式会社医療システム研究所は15周年を迎えることができました。社員一同、心より感謝申し上げます。

人財である社員が持つ無限の「可能性」を引き出し、依頼者様と一体となって未来の医療に貢献する「可能性」を実現させていきます。

2013年10月



25 & 15 Anniversary

経験者募集中

- あなたの力を最大限に発揮できる舞台があります。
- 【募集職種】 CRA、QA
 - 【応募資格】 CRA：理系大卒以上のCRA経験者
QA：理系大卒以上のCRA・QA・QCいずれかの経験者
 - 【勤務地】 東京
 - 【問い合わせ】 採用担当：海邊 (カイヘン) TEL: 03-5543-0296
 - 【募集職種】 CRC
 - 【応募資格】 理系大卒以上のCRC経験者
または、有資格者 (看護師、臨床検査技師)
 - 【勤務地】 東京・横浜・大阪
 - 【問い合わせ】 採用担当：松崎 TEL: 03-5543-0176

SRD 株式会社 エスアールディ 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-8 RBM京橋ビル
MSR 株式会社 医療システム研究所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-8 RBM京橋ビル

年	月	株式会社エスアールディ	月	株式会社医療システム研究所
1989年	3月	株式会社エスアールディ設立 (資本金2000万円) 東京都中央区本郷に事務所設置		
92年	7月	資本金3000万円に増資		
93年	3月	事務所移転：東京都中央区八丁堀 内外ビル		
95年	9月	臨床試験事業協会 (臨床協) に加盟		
96年	7月	事務所移転：東京都中央区八丁堀 西勘ビル 日本CRC協会に加盟		
97年	8月	資本金4000万円に増資		
99年	4月	前橋に分室開設		
99年	4月	SMO部門分社化	4月	株式会社医療システム研究所設立 (資本金2000万円) 前橋支社開設
2000年			7月	SMO業務 (第II/III相試験) 受託本格化
2000年			7月	腎臓患者の薬物動態試験 受託開始
01年	12月	事務所移転：東京都中央区八丁堀 長崎ビル	5月	SMOネットワーク協同組合 (SMONA) 設立参加
01年	5月	SMOネットワーク協同組合 (SMONA) 設立参加	12月	大阪支社開設
02年	12月	事務所移転：東京都中央区八丁堀 八丁堀ファーストビル		
03年			5月	特定派遣事業 届出受理 (特13-011638)
04年	7月	株式会社SRD生物センターをM&A (旧株式会社実医研)		
04年	5月	株式会社アイ・アール住友を設立		
05年	4月	SRD生物センター池川ラボラトリ開設	11月	資本金3000万円に増資
08年	9月	設立20周年記念社内パーティー挙	5月	医学ボランティア会のホームページ立ち上げ
08年			10月	設立10周年記念社内パーティー挙
09年	3月	資本金5000万円に増資		
10年	2月	SRDインターナショナル設立		
12年	2月	事務所移転：東京都中央区八丁堀 RBM京橋ビル		
12年	5月	株式会社SRDスタッフ (人材派遣サービス) M&A		
13年	10月	第一種医療機器製造販売業許可を取得		
13年	4月	国際事業部開設 (旧SRDインターナショナル事業承継)	4月	横浜オフィス開設
13年	10月	設立25周年記念社内パーティー挙	9月	設立15周年記念社内パーティー挙

エスアールディ創立25周年
医療システム研究所創立15周年
可能性のその先へ
新たな未来にさらなる挑戦を

CROのエスアールディ (SRD) が創立25周年、SMOの医療システム研究所 (MSR) が創立15周年を迎えた。M&Aが激しいCRO・SMO業界において、非上場独立系企業グループ大手として存在感を示してきたが、ひとえに、閉塞に企業規模の拡大を追求せず、刻々と変化する時代・メーカーのニーズを的確に捉えたサービス提供と、信頼に直結する人財の育成を最重視してきたことに由来する。25年、15年という節目を迎えたが、これは一つの通過点である。SRDの田澤博実社長、MSRの日野原好社長は、「可能性のその先へ 新たな未来にさらなる挑戦を」をキャッチフレーズに掛け、今後もチャレンジを続けて確固たる成長路線を邁進していく決意を語った。



講演会・記念式典を挙げる (去る9月28日にMSRが、10月5日にはSRDがそれぞれ社員向けの講演会と記念式典を都内で開催し、同日とも各社員の9割以上が参加して節目を祝った。講演会では、CROのあるべき姿、医薬品開発のグローバル化、製薬企業とCROを取り巻く事業環境、TPPと医薬品業界をテーマに行われ、社員たちは熱心に聴講していた)

存続への強い意思必要

SMOはアライアンスで

SRDの田澤社長は、SRDはCROの成長を加速させるために、SMOとのアライアンスを推進している。SMOは、CROと連携して、臨床試験の効率化を図る。田澤社長は、SRDはCROの成長を加速させるために、SMOとのアライアンスを推進している。SMOは、CROと連携して、臨床試験の効率化を図る。



日野原氏



田澤氏

SRDの田澤社長は、SRDはCROの成長を加速させるために、SMOとのアライアンスを推進している。SMOは、CROと連携して、臨床試験の効率化を図る。田澤社長は、SRDはCROの成長を加速させるために、SMOとのアライアンスを推進している。SMOは、CROと連携して、臨床試験の効率化を図る。